

QOLを求めた Cataract Surgery

患者満足度
100%を
目指して

座長のことば

今年年間100数十万眼の白内障眼内レンズ手術が行われているといわれています。洗練された手術手技や性能及び安全性が向上した手術機器・器具、高精度な検査機器を用いた術前検査、きめこまかな周術期管理など、他の手術にみられない程完成された手術といえるかもしれません。しかし、全ての患者さんの満足度100%というのは達成されていません。今回の共催セミナーでは患者さんの満足度100%を目指すことをテーマにしました。演者には、京都府立医科大学眼科の稗田 牧先生と菊川眼科の福本 光樹先生にお願いしました。難しいテーマですが、明日からの白内障手術をよりよくするためのヒントをいろいろ伺えるものと楽しみにしています。是非、多くの先生方をご参加されるようお待ちしております。

座長



Kazuno Negishi

根岸 一乃先生

慶應義塾大学医学部眼科学教室 准教授

演者



Osamu Hieda

QOLを求めた白内障手術

患者満足度を高めるキーポイント

稗田 牧先生

京都府立医科大学眼科学教室 学内講師

演者



Teruki Fukumoto

屈折矯正術後患者の白内障手術

患者満足度を高めるキーポイント

福本 光樹先生

菊川眼科 副院長/南青山アイクリニック東京 副院長